
福祉社会学会ニュースレター 第 64 号

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.64

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

目次

- * 福祉社会学会・第 19 回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について（2 月 28 日締切）
- * 福祉社会学会・第 19 回大会自由報告の募集について（4 月 16 日締切）
- * 現在非会員で大会報告をお考えの方に
- * 福祉社会学会・第 19 回大会の抄録集のホームページ掲載について
- * 福祉社会学会・第 19 回大会シンポジウムのお知らせ
- * 福祉社会学会・第 19 回大会にての情報保障について
- * 第 6 回福祉社会学会賞（学術賞および奨励賞）候補の推薦のお願い
- * 理事選挙について
- * 理事会報告
- * 新規会員の紹介
- * 事務局からのお願い

* 福祉社会学会・第 19 回大会テーマセッションのテーマとコーディネーターの募集について

福祉社会学会第 19 回大会は 2021 年 6 月 19 日（土）・20 日（日）にオンラインにて開催予定です。大会のテーマセッションについてお知らせします。

テーマセッションはコーディネーターを中心に報告部会を企画していただくもので、コーディネーターには、報告者・報告順の決定、および当日の司会進行を行なっていただきます。テーマセッションは研究委員会に企画書を提出していただき、その採択・承認をもって成立します。採択の結果については締切後 1 週間以内にお知らせいたします。

テーマセッションは以下の 3 種類です。

- (1) 会員から報告者を公募する公募型テーマセッション
- (2) 報告者を公募しない、会員による自主企画セッション

(3) 非会員の報告者を含めた拡大セッション

※上記以外に、(4) 研究委員会企画テーマセッションが組まれる可能性があります。

(1) の報告者公募型テーマセッションは、企画が採択された場合、3月第一週頃にニューズレターで会員から報告者を公募します。コーディネーターは応募者の中から報告者を選定し、部会編成を行います。部会が成立しなかった場合や報告が採択されなかった場合は、大会の自由報告部会で報告することができます。

(2) は自由報告の一部会の扱いになります。自由報告申込時に企画書（公募型、拡大セッションの企画書に準じたもの）を一緒にご提出ください。

(3) は非会員を報告者を含めたセッションです。コーディネーターは会員である必要があり、その招聘に伴う費用はコーディネーターが責任をもつものとします。拡大セッションは報告者の公募を含めることもでき、その場合には公募型と同様な募集を行います。

公募型テーマセッション、拡大セッションの企画書について

- ・ 締切：2月28日（金）
- ・ 申し込み先アドレス：fukushakai9research★googlegroups.com（←★を@に変えてください）
- ・ 企画書の内容：下記の事項および「テーマセッション・コーディネーター申込み」であることを明記した企画書をお送りください。
- ・ テーマセッションの種類／所属／連絡先（住所・電話番号・電子メールアドレス）
- ・ テーマ（そのまま部会名となります）
- ・ 拡大セッションの場合、非会員の報告者の氏名・経歴・研究歴などの情報
- ・ 部会趣旨（800字程度。承認された場合は、ニューズレターにそのまま掲載されます。）

テーマセッションに申し込みをされた方に対しては、受理通知を電子メールで返信します。申し込み後2日を過ぎても返信がない場合は、研究委員会の阿部彩までご連絡ください（ayaabe★tmu.ac.jp ←★を@に変えてください。）

*** 福祉社会学会・第19回大会自由報告の募集について**

本年6月19日（土）・20日（日）にオンラインにて開催予定の第19回大会の自由報告募集のお知らせです。自由報告の申込と予稿集原稿の提出締切はいずれも4月16日（金）の予定です。申込書と予稿集原稿の提出の締切が同一日程に設定されていますので、ご注意ください。なお、いずれも電子メールのみの受け付けとなりますので、あらかじめご了解ください。

自由報告申し込みを検討される場合は、学会ニューズレターおよび本学会の WEB ページに掲載される大会 WEB ページにご注意いただき、締切などのお見落としのないようお願いいたします。

学会 WEB ページの URL は次の通りです。 <http://jws-assoc.jp/>

* 現在非会員で大会報告をお考えの方に

次回の本学会への入会承認は 6 月大会時に開催予定の理事会となりますが、現在非会員で大会報告申込をお考えの方も、以下の手続きによって御報告（自由報告、テーマセッション報告）いただくことが可能です（共同報告で、現在非会員の方が含まれる場合も同様です）。

(1) 報告は会員であることが条件となりますので、大会報告申込締切時点の 4 月 16 日（金）必着で福祉社会学会事務局（〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院人文社会系研究科 金成垣研究室）あてに入会申込書を御郵送下さい。その際、「大会報告申込希望」であることを明記して下さい。

(2) 同時に、大会報告申込も、申込要領に従って 4 月 16 日（金）までに研究委員会あてに申し込んで下さい。その際、「事務局に入会申込書送付済」と明記して下さい。

(3) 庶務理事と理事会幹事会で入会申込書を確認したうえで、仮入会の形とさせていただきます。この時点で追加の確認が必要になった場合は、庶務理事より連絡させていただきます。

(4) 同じく 4 月 16 日（金）提出締切の予稿集原稿を御用意いただき、研究委員会あてに電子メールでお送り下さい。

9 月締切予定の学会誌『福祉社会学研究』への投稿には 6 月大会時の理事会での入会承認が必要となりますので、現在非会員で投稿を御希望の方はお間違いないようお願いいたします。

* 福祉社会学会・第 19 回大会の抄録集のホームページ掲載について

第 19 回大会では、抄録集を HP にて掲載いたします。抄録集が出来上がりましたら、学会員にはメールでパスワードをお知らせします（パスワードでの情報管理）。テーマセッションと自由報告にご応募なさる場合は、抄録集が HP にアップされることをご了解いただきますようお願いいたします。冊子は、配布いたしません。

* 福祉社会学会・第19回大会シンポジウムのお知らせ

第19回大会のシンポジウムは、以下に決定いたしました。奮ってご参加ください。

<タイトル>

「福祉と教育」：メインストリームの「教育」にのらない人々の教育保障を考える

<企画の趣旨>

近年、福祉と教育の距離が急激に狭まってきている。2013年の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」と翌年の大綱においては、学校を子どもの貧困対策のプラットフォームにすると謳われ、生活困窮者自立支援法の枠組みの中で学習支援事業が行われるようになるなど、教育政策の中で福祉的目的をもたせたり、また、逆に福祉政策の中で教育的要素を盛り込んだものが実践され始めている。

一方で、画一的な教育制度の中で、学校社会から排除されてしまう子どもたち・人々も多く存在する。文部科学省によると、不登校の子どもは14万人を超え、児童数に対する割合も平成24年度から上昇しており1.47%となっている。これら不登校児に加え、障害をもつ子ども、外国ルーツを持つ子ども、性的マイノリティの子ども、妊娠した子ども、学びなおしたい成人など、多くの子ども・人々が日本の教育制度から排除されている。また、近年においては対策が進んでいるとはいえ経済的・家庭的な理由等で学校の中にも学力が身につけていかなかったり、子どもの権利と言える学校生活そのものを楽しむことができない子どもも多く存在することが、近年の子どもを対象とした多くの調査から明らかになってきており、これらは「学校内の排除」と言えるであろう。

2020年2月から始まった新型コロナ・ウィルス感染拡大による休校やオンライン授業への部分移行は、このような「学校からの排除」「学校内の排除」の傾向に拍車をかけている。

しかしながら、これらの問題に対処することが期待されているスクール・ソーシャル・ワーカーや学校外の学習支援事業は圧倒的に量・質が足りていないのが現状である。社会的排除/包摂の理論に当てはめるならば、これらを「福祉の問題」と切り分けるのではなく、教育政策の中でいかに包摂的な教育を築いていくかという視点も重要であろう。

本シンポジウムでは、福祉と教育の接近が求められる今こそ、教育の中での排除と包摂を見つめなおし、どのように福祉政策と部分的には統合し、部分的にはすみ分けていくのかを考える。

<シンポジスト>

1. 「包摂と排除の教育学」(仮題) 倉石一郎先生(京都大学総合人間学部 教授)
2. 「フリースクールをはじめとする学校外教育の動向」(仮題) 森田次朗先生(中京大学現代社会学部 准教授)
3. 「インクルーシブ教育」(仮題) 中山忠政先生(弘前大学 教育学部 講師)

<パネル・ディスカッション>

パネル：倉石先生、森田先生 中山先生

モデレーター：阿部彩 東京都立大学 人文社会学部 教授

* 福祉社会学会・第19回大会にての情報保障について

第19回大会にては、オンライン（Zoom）で実施するため、聴覚障害のある方への字幕機能を用いた文字情報の提示を検討しています。詳しくは、後日配信される大会案内をご覧ください。

* 第6回福祉社会学会賞（学術賞および奨励賞）候補の推薦のお願い

【1月6日に電子版ニューズレターにてお知らせいたしました内容を再掲載いたします。】

学会賞選考委員会では、第6回福祉社会学会賞（学術賞および奨励賞）候補の推薦を受け付けます。以下の要領に従ってご推薦ください。自薦、他薦を問いませんが、各会員が推薦できるのは各賞につき一点以内です。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。なお、選考の結果は2021年度の福祉社会学会総会にて発表予定です。

<受賞資格者および受賞対象>

学術賞：受賞資格者は「すべて」の会員。受賞の対象は「単著の著書」。

奨励賞：受賞資格者は原則として「修士課程入学後13年以内」もしくは「博士課程入学後11年以内」の会員（受賞対象の刊行日を満期とする）。受賞対象は「単著の著書」あるいは「本学会誌または他の学会誌等に掲載された査読付の論文」。

<受賞対象の刊行日>

2019年1月1日より2020年12月31日の2年間に刊行された会員の著書および学術論文。

<推薦受付期間>

2021年1月8日から2021年2月8日まで。

<推薦方法>

学会賞推薦ページ (<https://iap-jp.org/jwsa/recommend> ユーザー名 jws-assoc/パスワード 111111) にログインして必要事項をご記入ください。なお、学術賞・奨励賞の有資格者であるかどうかについては、会員であるかどうかも含めて事務局で確認しますので、正確な情報がわからなくてもご推薦いただいてもかまいません。

推薦方法等に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

学会賞選考委員会（委員長・稲葉昭英 akihide.inaba@keio.jp ←★を@に変えてください）

* 理事選挙について

2021年6月開催予定の大会総会にて第9期役員の任期が終了することに伴い、2月に理事選挙を実施します。1月中に発送予定の郵送版に同封される選挙人名簿で資格等を御確認下さいますようお願いいたします。

会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

* 理事会報告

日時：2020年11月15日（土）18時～20時30分 ZOOMによるオンライン開催

出席：阿部彩、天田城介、稲葉昭英、上村泰裕、金成垣、須田木綿子、高野和良、田淵六郎、

富江直子、畑本裕介、平岡公一、平野寛弥、宮垣元、森川美絵、山田昌弘

0. 冒頭、平岡会長より挨拶があった。
1. 阿部研究委員長より、第18回大会（自由報告のみ）が2020年11月15日（日）にオンラインで開催されたことが報告された。
2. 阿部研究委員長より、審議事項として、第19回大会を対面方式で開催するか、オンライン方式で開催するかが提起された。審議の結果、開催校を設定せずオンラインで開催することが決まった。大会シンポジウムは第18回大会で予定としていた「福祉と教育」というテーマで進めること、開催日程は大会シンポジウム登壇者の予定を優先しながら6月中旬～7月上旬で調整を行うこと、参加は非会員も可能とし参加費は徴収しないこと、予稿集は電子ファイル（PDF）のみで進めるこ

- ととなった。オンライン大会の運営と電子予稿集の作成のための予算措置が提案され承認された。
3. 天田編集委員長より、学会誌第 18 号の編集状況と第 19 号の特集企画の予定について報告された。
例年、大会シンポジウム企画と編集委員会企画の 2 本立てで特集を企画しているところ、第 18 号では、編集委員会企画「戦後福祉のナラティブ」の 1 本立てで企画を組むこととなった。自由投稿論文については、16 本のうち受理 15 本、不受理 1 本となり、受理論文に関しては査読が進んでいる。第 19 号の特集は、第 19 回大会シンポジウムのテーマ「福祉と教育」で企画を進める予定である。なお、掲載論文の英文要約に対するネイティブチェックの外部委託と予算措置について提案され承認された。
 4. 稲葉学会賞選考委員長より、選考委員会の構成、選考スケジュール、候補と受付、予算措置について提案され、それぞれ承認された。
 5. 社会政策関連学会協議員の平野理事より、社会政策関連学会協議会の組織体制と役員、ホームページ管理・運営について報告された。第 25 期日本学術会議新規会員任命拒否問題に対する協議会参加学会の対応について、これまでの経緯と協議会主催シンポジウムの予定が報告された。
 6. 平岡会長より、第 25 期日本学術会議新規会員任命拒否問題に対する本学会のこれまでの対応（10 月 8 日に理事会声明発表、11 月 6 日人文・社会科学系協議会共同声明に対する賛同）についての報告がなされ、今後の方針（会員向けの説明と会員からの意見聴取など）についての意見交換が行われた。
 7. 平岡会長より、2020 年度活動方針案が提案され、承認された。
 8. 田淵財務委員より、2019 年度決算案の承認・検査結果の準備および 2020 年度予算案の作成が遅れていること、11 月末までには準備を進めメール審議にかける予定であることが報告された。
 9. 平岡会長より、2019 年度決算案の承認・監査の実施と 2020 年度予算案についてのメール審議後、12 月末までにオンラインで総会を実施することが提案され、承認された。
 10. 事務局より、11 月 5 日（木）～9 日（月）にメール審議で行った新規入会者（6 名）の承認が報告された。
 11. 事務局より、審議事項として、理事選挙について提案がなされた。選挙管理委員については、森川理事と金理事の就任が承認された。一般会員枠の選挙管理委員については、後日候補をあげ、メール審議を行うこととなった。
 12. 阿部理事より、審議事項として、入会申込書の性別と年齢の項目において、「答えない」欄を追加することが提案され、承認された。学会賞受賞資格などの確認のために、新たに「修士課程終了年度」欄を追加することとなった。

*** 新規会員の紹介**

(電子版では省略)

*** 事務局からのお知らせ**

御所属や住所、メールアドレスを変更された場合は、毎日学術フォーラム福祉社会学会係 (maf-ws@mynavi.jp)までお知らせ下さい。

【編集・発行】福祉社会学会事務局